

福知山HANABI実行委員会への確認事項

確認事項①	実行委員会のスタッフ、特に緑色の蛍光タスキをしていた若い人に対して、活動して良かった点、困った点を確認してほしい。
回 答	実行委員会運営本部の警備エリア責任者（リーダー）へのヒアリング結果を共有します。なお、運営本部のメンバー及びボランティアスタッフの中に緑色の蛍光タスキをした者は把握できておりません。 ◆活動して良かった点 ○ゲートでの受付けや客席への案内、露店の営業時間に合わせたお客様の誘導、広小路通りでの駐輪や場所取りへの対応、打上げエリアでの徹底した散水、周辺を自転車で巡回して軒先営業しようとしているところへの迅速な声掛け等、どのエリアも大きな混乱やトラブルなく対応できていた。 ○警備計画書で、スタッフひとりひとりに番号を付けて地図に配置が落とし込まれていたため、スムーズにボランティアスタッフに説明できた。 ○担当エリアのボランティアスタッフに対して、事前の打合せで流れや注意点を共有したり、任務内容によってチームを組ませたりする等、リーダー達はしっかりと指示・管理ができていた。 ○観覧席から離れた仮設トイレの近くの投光機は周辺に段差があり真っ暗になると危険なため打上げ中も消灯しなかったり、退場時はアナウンスに従うだけでなく混雑状況を見て誘導したりする等、リーダー達が各自の判断で臨機応変に対応してくれたため、事故や混乱の防止に繋がった。 ○観覧席のお客様は文句を言うことなく指示に従ってスムーズに退場し、観覧席にゴミは全然落ちていなかった。 ○チケットを持たない人を堤防天端に入らないように誘導している際に「昔は入れたやないか！」と怒る人もいたが、近くに警察官がたくさんいたので、激怒していてもそこまで大きく怒鳴ることはなく、安心して対応できた。 ○消防署員が近くにいるため現場ですぐに状況を確認でき、ボランティアにも共有することができた。 ◆活動して困った点 ○エリアによってトランシーバーが届きにくい、届かないことがあった。 ○照明に多数の虫が集まったため、ゲートでの受付けに支障が出たり、客席のお客様に迷惑を掛けたりすることがあった。 ○仮設トイレに照明が無く、急遽手持ちのライトで対応した。 ○ベビーカーはゲートで預かる、客席での椅子の使用は禁止というルールだったがいくつかクレームがあったため、ベビーカーの持ち込みや妊婦等の椅子使用が可能な客席を設定してはどうか。

	○御霊公園内の遊具で遊ぶ子ども達の危険を感じたので、使用不可または侵入不可にしてはどうか。 ○電気配線は束ねる等の対処をしたが躓く人が多かったため、仮設で上にあげてはどうか。 ○露店に並ぶ列が道路近くにまで長くなってしまったため、あらかじめ道路にはみ出さないよう導線を作るべきだった。 ○19 時 40 分以降は御霊公園から広小路通りに一斉に人が流れてきたため、水天宮前交差点付近で場所取りをする人への注意が行き届かず、歩行者の動線確保が難しかった。 ○翌日、打上げエリアの花火の導線や筒等がたくさん落ちており、清掃が徹底できていなかった。 ○本人不在でシートを敷いて場所取りしている場所があったので、場所取り禁止の看板を設置する等の対策を検討してはどうか。 ○通行止めの告知は、自治会長への個別説明、回覧、チラシのポスティング、ポスター掲示、新聞広告、折込みチラシ、予告看板、WEB サイト、SNS 等で行ったが、それでも知らずに侵入する住民がいた。さらなる事前告知の徹底について検討が必要。
--	--

確認事項②	車いす観覧者などバリアフリー対策はどのようにされたのか。 例えば、階段ではなくスロープがあるゲートからの入場としたなど。
回 答	○車椅子専用の客席は設定していませんでしたが、車椅子で観覧したいと事務局へ数件の問合せがありましたので、介助者を含むグループの人数や年齢、ご要望等をしっかりとヒアリングした上で個別に対応しました。 ○例えば、事務局で指定した後列のシート席のチケットを購入して頂く。階段席のチケットをご購入頂いた上で後列のシート席の後ろ側に車椅子をとめて観覧して頂く等。あわせて、該当エリアのリーダー達と事前に情報共有し、ゲートでの受付や客席への案内をスムーズに行えるようにしました。なお、ゲート 4 箇所は全てスロープで客席に入場できる場所に設置しており、階段で入場するゲートはありません。

確認事項③	南海トラフ地震臨時情報が発表されたことにより、何か検討されたのか。
回 答	○検討はしていませんが、福知山市は南海トラフ地震の想定震源域からは離れていること、気象庁の南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）では「今後の政府や自治体などからの呼びかけ等に応じた防災対応をとってください」とあったことから、運営本部においては、今後の政府や自治体等の呼びかけに応じて対応することを確認しました。

確認事項④	ゲリラ露店はあったのか。あった場合、どのように対応されたのか。
回 答	○なかった。

確認事項⑤	警備員の配置場所により、警備する内容が異なる。場所によって警備方法が違うと思うが、どのような研修をされたのか。
回 答	○警備会社の責任者には、各配置場所での任務内容について説明を重ね、警察との協議の場にも出席して頂くことで、警備計画をしっかりと理解して頂きました。その上で、警備会社は我々よりも警備のプロであることから、警備員の配置や任務内容に応じた研修の実施は警備会社内で行ってもらいました。

確認事項⑥	花火大会後に被害者の方から何かご意見があったのか。
回 答	○開催前は、コンタクトの取れた被害者の方から、花火大会の開催に賛成する旨の前向きなご意見を頂戴しました。当日はボランティアに参加された被害者の方が、来年はご主人（被害者）と参加したいと仰っていました。 ○花火大会後のアンケートで、被害者の方が「11年ぶりの花火、嬉しかったです。私も被害者の1人ですが、これまで長期間にわたり話し合いなどをして頂き、被害者の気持ちにも寄り添っていただいたと思います。久しぶりに見た花火はいろんな想いと感動で涙が溢れました。本当にありがとうございました！来年もよろしくお願いします!!」と回答されています。

確認事項⑦	来場者数 12,000 人はどのように算出されたのか。
回 答	12,000 人というのは「来場者数」ではなく、「来場者延べ人数」となります。 ○有料観覧席は、販売したチケット数により 3,000 人と算出。 ○御霊公園は、露店の売上額等により 4,000 人と算出。 ○広小路通り含む周辺は、写真による一定範囲の人数等から全体で 5,000 人と算出。 これらを合計して、「来場者延べ人数 12,000 人」と算出しました。 その他、DS インサイト（携帯の電波を使った AI のリサーチツール）も算出の参考にしています。

確認事項⑧	伝承碑が設置されたことの反応や効果が分かれば、被害者関係者と一般市民に分けて教えていただきたい。
回 答	(1) 被害者関係者 伝承碑についてのご意見は伺っておりませんが、ボランティアに参加された被害者の方は献花されていました。 (2) 一般市民 2022 年 8 月から久昌寺に伝承碑を設置させてもらっていましたが、堤防から離れているため手を合わせづらい点は否めませんでした。今回、伝承碑を水天宮横へ移設したことで、「手を合わせる場所が近くにできて良かった」等の感想を伺っております。 また、花火当日は 800 本の花を用意し、市長を初め多くの来場者に献花して頂くことができました。伝承碑は事故の記憶を風化させず、次世代に伝えるものであり、我々の安全な花火大会を開催して二度と悲劇を繰り返さないという誓いでもあります。その思いが少しでも市民や被害に遭われた方に届いたのなら、それは今回の伝承碑移設や献花の効果のひとつといえるかもしれません。